

科目名	刑法各論Ⅱ	
担当者	杉山 和之 / SUGIYAMA, Kazuyuki	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	刑法各則における社会的法益に関する罪について学ぶ。授業では、その項目に関する具体例を用意するので、それについて全員で検討をしながら進めていく。
	到達目標	新聞やニュースを読んだときに、その事件が何罪に該当するのかが分析することができるようになる。それによって、その犯罪の予防や対策へとつなげていくことができるようになる。
授業計画	(1) 放火罪 (2) 強制わいせつ罪・強姦罪 (3) 通貨偽造罪 (4) 偽造通貨知情行使罪と詐欺罪 (5) 文書偽造罪 (6) 公務執行妨害罪 (7) 公務員職権乱用罪 (8) 談合罪 (9) 証拠隠滅罪 (10) 犯人蔵匿罪 (11) 偽証罪 (12) 賄賂の罪 (13) 賭博罪 (14) 内乱罪 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	ニュースや新聞などに注目する。
	事後学習	授業で取り上げた内容を身近なものとして常に意識する。
使用教材・参考文献	【教】 齊藤信宰『刑法講義 各論（新版）』（2007年成文堂）。さらに、講義前に毎回プリントを配布する。 【参】 ポケット六法（有斐閣）、デイリー六法（三省堂）など。	
成績評価方法と基準	定期試験の結果で判定する。	
備考	質問などがあれば、いつでも受け付ける。授業後、学校外、メールなどによる質問の受け付けも常時行う。	